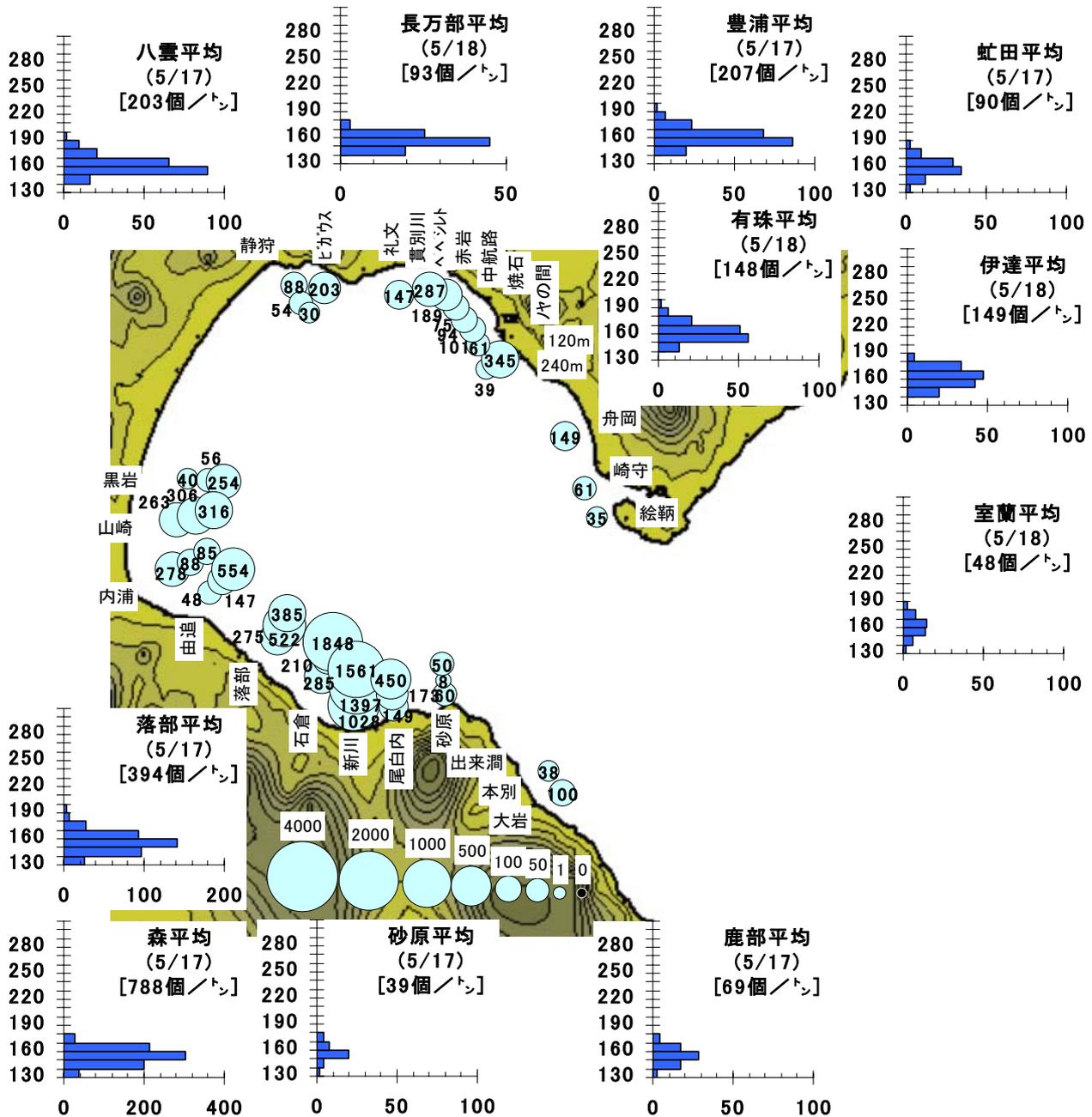


第3回噴火湾ホタテガイ情報(2010年)

発行日：平成22年5月21日

函館水産試験場・栽培水産試験場・釧路水産試験場
胆振・渡島北部・渡島中部地区水産技術普及指導所

図1. 浮遊幼生分布状況(5/17-5/18) ・丸の大きさと添付数字は幼生密度(個/ト)、



概要

5月17日から18日に各地区指導所により、噴火湾の浮遊幼生調査を行いました。地区ごとのばらつきは大きいですが、多い地点では1,848個/ト(森地区石倉沖)、平均でも788個/ト(森地区)と、順調な浮遊幼生の出現がみられています。最近の好天を反映して水温が上昇し、産卵が促進されたためと考えられます。サイズは小型の殻長150~160μmが中心です。この浮遊幼生が順調に付着サイズまで成長することを期待しましょう。

来週(5/24の週)には、用船による沖合調査も予定されています。湾全体の分布状況と海況が明らかになる予定です。

連絡先：函館水試 調査研究部 管理増殖グループ 馬場・渡野邊・菅原・金森